

横須賀市は、三浦市と共同でごみ処理を行うこととし、平成31年度稼働予定で新たなごみ処理施設の建設を進めています。横須賀市には焼却施設と不燃ごみ等選別施設、三浦市には最終処分場を建設します。

横須賀市に建設中のごみ処理施設（焼却施設、不燃ごみ等選別施設）の建設工事は、平成28年4月から建設敷地の造成工事を開始し順調に進められています。

今回は、環境影響予測評価（環境アセスメント）の事後調査等についてお知らせします。

環境アセスメント事後調査等

横須賀市は、ごみ処理施設建設にあたり、周辺環境への影響について、神奈川県「環境影響評価条例」に基づき環境影響予測評価（環境アセスメント）を実施した後、工事を開始しました。

現在、施設建設工事を実施していますが、環境アセスメント調査で予測した結果や環境保全措置の効果を検証するために、環境アセスメントの「事後調査」を行い、結果を公表しています。

環境アセスメントの施設建設地周辺の動植物調査においては、新設道路工事等により絶滅危惧種である植物の「ツルギキョウ^{*1}」の一部が消失する可能性があること、また、絶滅危惧種である鳥類の「ミソゴイ^{*2}」の鳴き声が確認されました。これらのことについて神奈川県環境影響評価の手続きに基づき、以下の保全対策、事後調査等を実施しています。

ツルギキョウについては、事後調査として専門家と相談し移植等の保全措置を行い、移植後の定着状況の確認調査を施設稼働まで行うこととしています。平成28年度の調査においても移植先で定着していることを確認しています。



移植先にて撮影

*1 ツルギキョウとは、キキョウ科 ツルギキョウ属に属する植物で、環境省レッドリストでは、絶滅危惧種Ⅱ類、神奈川県レッドデータブックでは絶滅危惧ⅠA類に分類されています。

形態は、つる性の多年草であり、葉は薄い膜質で、卵心形で対となって生えてきます。

生態は、夏から秋にかけて葉の腋から短い柄を持つ花をつけ、花冠は鐘形で先が5つに裂け反り返ります。花は外側が白色、中は薄紫色をしています。

ミゾゴイについては、事後調査とは別に生息及び繁殖状況の追加調査を行いました。工事区域から離れた周辺地域で鳴き声が確認されたのみで、工事区域内に巣は確認されませんでした。



野毛山動物園にて撮影

*2 ミゾゴイとは、4月に渡来する、体長50cm程のサギ科の鳥類です。環境省レッドリストでは、絶滅危惧種Ⅱ類、神奈川県レッドデータブックでは絶滅危惧Ⅰ類に分類されています。日本でのみ繁殖し、世界で1,000羽以下と言われています。生態についての情報は不足しており、横浜市野毛山動物園では全国で保護されたミゾゴイの展示と保護を行い、基礎データを集積しています。

今後も、神奈川県環境影響評価条例に基づき、ツルギキョウ移植後の定着状況調査及び工事の施工中、完了後の道路沿道における大気調査等の事後調査を実施します。

環境アセスメント事後調査スケジュール

年 度	調 査 内 容
平成 26 年度	植物（ツルギキョウ移植）平成 32 年度まで定着状況調査 （追加調査）動物（ミゾゴイ） 生息・繁殖調査
平成 27 年度	道路沿道（大気、騒音・振動等）トンネル工事関係 植物（ツルギキョウ移植後の定着状況確認）
平成 28 年度	植物（ツルギキョウ移植後の定着状況確認）
平成 29 年度	植物（ツルギキョウ移植後の定着状況確認）
平成 30 年度	道路沿道（大気、騒音・振動等）施設建設工事関係 植物（ツルギキョウ移植後の定着状況確認）
平成 31 年度	植物（ツルギキョウ移植後の定着状況確認）
平成 32 年度	道路沿道（大気、騒音・振動等）パッカー車等関係 一般環境大気（煙突排ガス影響）、悪臭調査（施設稼働） 植物（ツルギキョウ移植後の定着状況確認）

お問合せ 横須賀市資源循環部広域処理施設建設室

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地

TEL 046 (822) 8278 (直通)

FAX 046 (824) 5630

e-mail ef2-ed@city.yokosuka.kanagawa.jp

ホームページ <http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4240/shinngomisvorishisetu.html>